



HSホールディングス

2025年3月期第2四半期(中間期)

決算説明資料

本資料は、当社の2025年3月期第2四半期(中間期)における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 原田 泰成		
所在地	東京都港区虎ノ門五丁目11番1号 オランダヒルズ森タワーRoP1307号		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕3社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数 (臨時従業員含む)	〔グループ全体〕 5,699名	(当社単体)	5名
		(連結子会社)	666名
		(持分法適用関連会社)	5,028名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 STANDARD市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	40,953百万円

2024年9月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所STANDARD市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)
2022年 3月	エイチ・エス証券(株)を売却

〔連結子会社〕3社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2024年9月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	▲ ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	49.77%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
リユース	● 株式会社STAYGOLD	100.00%

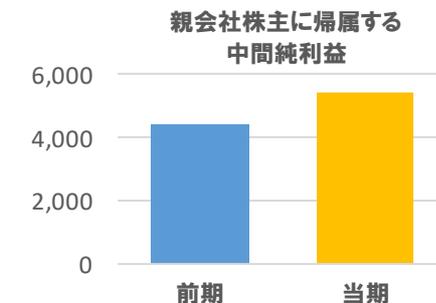
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
▲ ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● 株式会社STAYGOLD	2022年 株式を取得

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期 第2四半期 (2023年4月～2023年9月)	2025年3月期 第2四半期 (2024年4月～2024年9月)	前年同期比
営業収益	32,856	18,749	57.1%
純営業収益	14,285	4,498	31.5%
営業利益	5,515	▲174	- %
経常利益	9,461	6,679	70.6%
親会社株主に帰属 する中間純利益	4,407	5,396	122.4%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期 (2024年3月末時点)	2025年3月期 第2四半期 (2024年9月末時点)	前期末比
総資産	98,774	109,489	110.8%
純資産	72,416	82,287	113.6%
現預金	18,403	18,522	100.6%

連結業績変動の主な要因

■ 営業収益 32,856百万円 ⇒ 18,749百万円 ▲14,107百万円

■ 純営業収益 14,285百万円 ⇒ 4,498百万円 ▲9,787百万円

・前第1四半期末に、主要な連結子会社であったハーン銀行が持分法適用関連会社へ異動となったため、大きく減少している

■ 営業利益 5,515百万円 ⇒ ▲174百万円 ▲5,689百万円

・前第1四半期末に、主要な連結子会社であったハーン銀行が持分法適用関連会社へ異動となったため、大きく減少している
 ・STAYGOLDにおいて事業拡大に伴う販管費が増加、連結上で、のれんや無形固定資産の償却費の発生によりリユース事業が営業損失となった

■ 経常利益 9,461百万円 ⇒ 6,679百万円 ▲2,782百万円

・ハーン銀行の業績が営業外収益に持分法投資利益によって計上されているが、前第1四半期はハーン銀行の業績が全部連結されていたため、大きく減少している

■ 中間純利益 4,407百万円 ⇒ 5,396百万円 +988百万円

・モンゴル銀行法の改正によりハーン銀行の留保利益に関する税効果会計に変動が生じ、法人税等調整額がプラス方向に大きく動いたため増加している

2025年3月期第2四半期 (2024年4月1日～2024年9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	1,604	17,138	6,176	18,749
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 1,604 内 -	外 17,138 内 -	外 5 内 6,171	-
営業利益	80	▲30	5,892	▲174
経常利益	6,851	▲66	6,065	6,679

2024年3月期第2四半期 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	19,216	13,635	7	32,856
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 19,216 内 -	外 13,635 内 -	外 3 内 4	-
営業利益	5,770	34	▲384	5,515
経常利益	9,137	9	313	9,461

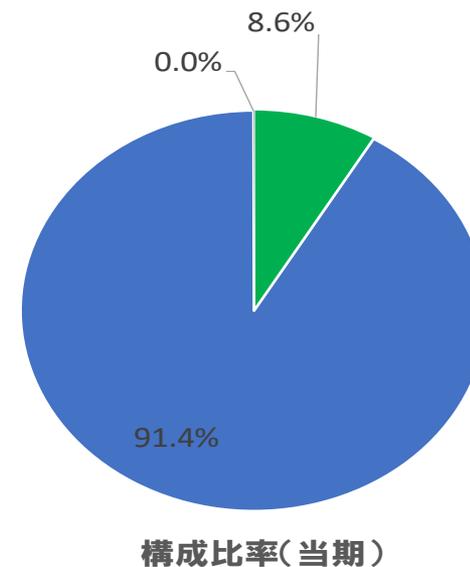
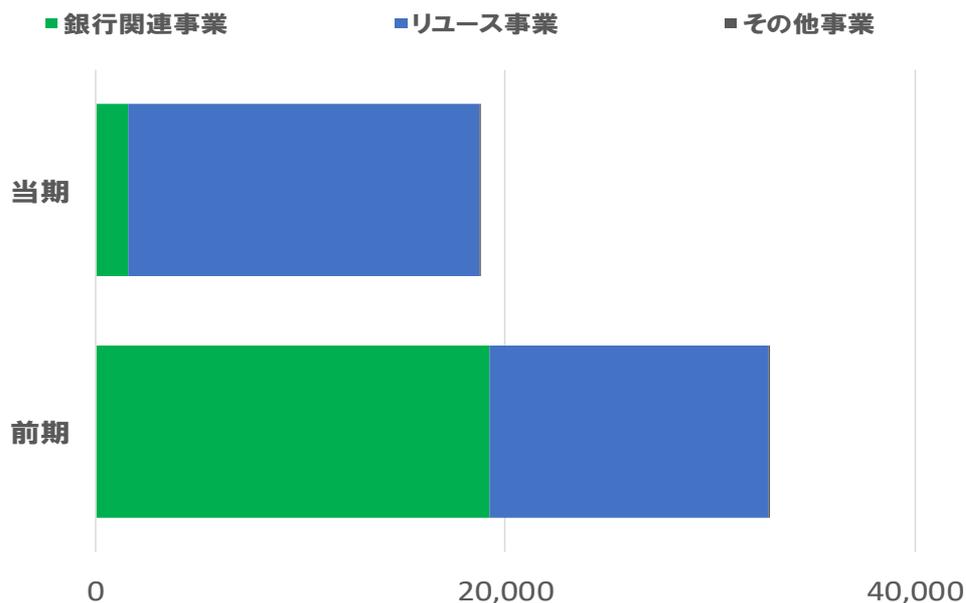
※ 営業収益の内訳 (外:外部顧客に対する営業収益/内:セグメント間の内部収益又は振替高)

※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

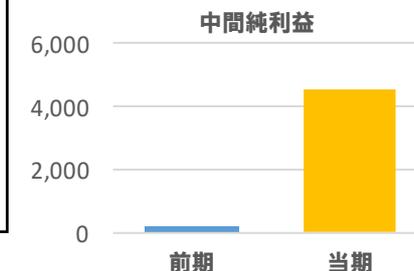
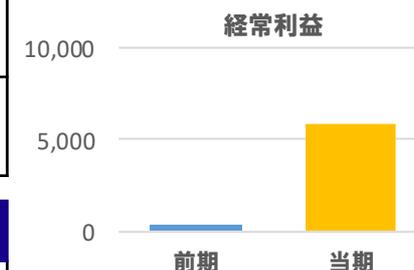
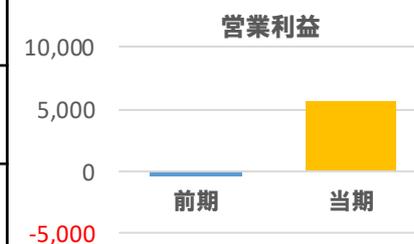
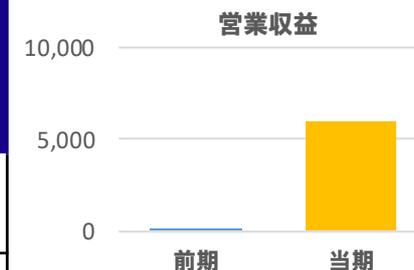
（単位：百万円）

セグメント	期間	2024年3月期第2四半期 (2023年4月～2023年9月)	2025年3月期第2四半期 (2024年4月～2024年9月)	前年同期比
銀行関連事業		19,216	1,604	8.4%
リユース事業		13,635	17,138	125.7%
その他事業		3	5	- %
合計		32,856	18,749	57.1%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比
営業収益	7	5,959	- %
営業利益	▲382	5,676	- %
経常利益	315	5,848	- %
中間純利益	185	4,504	- %
総資産 【前期末 / 当期末】	44,505	47,413	106.5%
純資産 【前期末 / 当期末】	43,600	46,647	107.0%



主な増減要因

■ 当期は、関係会社からの配当金が増加したことにより、前年同期比で大幅な増収増益となった。
(関係会社からの配当金は内部取引のため、連結業績には影響しない)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2023年12月期 第2四半期</th> <th>2024年12月期 第2四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Interest income (資金運用収益)</td> <td>945,614</td> <td>1,209,998</td> <td>128.0%</td> </tr> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>481,948</td> <td>587,846</td> <td>122.0%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (中間純利益)</td> <td>272,033</td> <td>290,440</td> <td>106.8%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>17,350,642</td> <td>20,185,938</td> <td>166.3%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2023年12月期 第2四半期	2024年12月期 第2四半期	前年同期比	Interest income (資金運用収益)	945,614	1,209,998	128.0%	Net interest income (純資金運用収益)	481,948	587,846	122.0%	Profit for the period (中間純利益)	272,033	290,440	106.8%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	17,350,642	20,185,938	166.3%
科目	2023年12月期 第2四半期		2024年12月期 第2四半期	前年同期比																		
Interest income (資金運用収益)	945,614		1,209,998	128.0%																		
Net interest income (純資金運用収益)	481,948		587,846	122.0%																		
Profit for the period (中間純利益)	272,033		290,440	106.8%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	17,350,642	20,185,938	166.3%																			
所在地	モンゴル国 ウランバートル																					
資本金	191,219百万MNT (MNT:トウグルグ)																					
議決権の 所有割合	49.77%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大の商業銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概況

- モンゴル経済は、消費や輸出が好調のため実質GDPは引き続き大幅なプラス成長。ハーン銀行の業績は、融資残高の増加により資金運用収益が増加しているが、預金残高の増加により資金調達費用も大きく増加しているため、純資金運用収益の増加率は資金運用収益の増加率より低くなっている。全体としては、ハーン銀行の業績(現地通貨基準)は依然として増収増益が続いている。また、2024年3月にモンゴル国を襲った大寒波の影響により、家畜に大きな被害が発生し、農牧業向け融資に対し貸倒引当金が積み増しされた。
- 個人向けにはデジタルバンキングサービスの推進、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に引き続き注力。また、法人・個人向けのグリーンローン、ハーン銀行財団を通して社会的投資なども積極的に行っております。
- ハーン銀行は、前第1四半期末より持分法適用関連会社となり、連結PL上は、前第2四半期より持分法による投資損益に反映されている。

	2023年6月末	2024年6月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	11,897,139	15,251,320	128.2%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	8,700,228	10,628,266	122.2%

【為替レート】
2024年6月末
1円 = 22.28MNT
2024年1月~6月平均
1円 = 21.06MNT

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	2023年12月期 第2四半期	2024年12月期 第2四半期	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)		265	506	190.4%
資本金	1,877百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		689	1,486	215.6%
議決権の 所有割合	46.80%	Profit for the period (中間純利益)		141	694	489.7%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】		15,058	21,478	142.6%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- ※ ソリッド銀行は、2024年6月にカムチャツカプロフィット銀行の株式の50%を取得し連結子会社としたため、ソリッド銀行の業績等は連結ベースとなります。
- 融資残高・預金残高ともに大きく増加しており、また、金利も上昇しているため、純資金運用収益は190%増と大きく増加した。また、ロシア大手銀行が規制を受けている影響から外貨取引収支が大幅に増加(242→734百万RUB)しており、純業務収益や当期純利益の増加につながっている。
- ロシア経済は、主にロシア国内消費の増加により実質GDP(1-6月)は前年同期比で4.1%の高成長となったが、ロシア・ウクライナ問題を起因とする幅広い経済制裁を受けており依然としてロシア経済の先行きは不透明であり、今後、ソリッド銀行の業績に影響を与える可能性がある。
- 優良企業への貸出や外貨取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の徹底管理・回収、担保物権の売却、預金コストの削減等を行うとともに、新たなビジネス環境への対応やリスク管理の強化等の取り組みを継続する。

	2023年6月末	2024年6月末	前年同期比	【為替レート】 2024年6月末 1RUB = 1.70円 2024年1月~6月平均 1RUB = 1.90円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	8,905	13,730	154.2%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	7,116	9,874	138.8%	

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間	2023年12月期 第2四半期	2024年12月期 第2四半期	前年同期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income ※ (純資金運用収益)		67	165	244.1%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)		287	326	113.5%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (中間純利益)		47	53	111.5%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】		8,871	8,699	98.1%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 融資残高・預金残高はともに増加しており、特に融資残高は利回りの高い個人向け融資が増加しているため純資金運用収益は増加した。一方で、非金利収支は、カード事業におけるシステム費用等が大きく増加したこともあり純業務収益は小幅な増加となった。キルギス国の規模が比較的小さいこともあり、金融業は競争が激しく、依然として業績は伸び悩んでいる。
- キルギス経済は、引き続きサービス業や製造業を中心に景気は回復傾向にあり、実質GDP(1-6月)は前年同期比で8.1%の高成長となった。ただし、ロシア・ウクライナ問題等により今後のキルギス経済の先行きは不透明。
- 今後も引き続き、中小企業融資や個人向け融資の増加、カード事業やモバイルバンキングなどのリテール事業の強化による非金利収入の増加を図る。

	2023年6月末	2024年6月末	前年同期比	【為替レート】 2024年6月末 1KGS = 1.72円 2024年1月~6月平均 1KGS = 1.86円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	5,884	6,313	107.3%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	3,901	4,115	105.5%	

(単位:百万円)

商号	株式会社STAYGOLD	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間 科目</th> <th>2024年2月期 第2四半期</th> <th>2025年2月期 第2四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>13,635</td> <td>17,138</td> <td>125.7%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>440</td> <td>375</td> <td>85.3%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>415</td> <td>339</td> <td>81.7%</td> </tr> <tr> <td>中間純利益</td> <td>259</td> <td>215</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>5,859</td> <td>5,935</td> <td>101.3%</td> </tr> </tbody> </table>	期間 科目	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	前年同期比	売上高	13,635	17,138	125.7%	営業利益	440	375	85.3%	経常利益	415	339	81.7%	中間純利益	259	215	82.8%	総資産 【前期末/当期末】	5,859	5,935	101.3%
期間 科目	2024年2月期 第2四半期		2025年2月期 第2四半期	前年同期比																						
売上高	13,635		17,138	125.7%																						
営業利益	440		375	85.3%																						
経常利益	415		339	81.7%																						
中間純利益	259		215	82.8%																						
総資産 【前期末/当期末】	5,859	5,935	101.3%																							
所在地	東京都渋谷区																									
資本金	90百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	リユース買取卸売・小売事業																									

会社プロフィール

- 2014年4月設立の社歴の浅い会社ながら、洗練されたWEBマーケティング手法が奏功し、若年層からの支持が大きく、買取・販売が急速に拡大。
- ブランド物のアパレル、アクセサリ、時計、宝飾品、貴金属などのリユース品の買取卸売や小売事業を展開。
- 関東、中部、近畿を中心に店舗運営。店舗買取だけでなく、宅配買取・出張買取も実施。自社オークションを通じた販売チャンネルも確立。

- ブランドアパレル等の中古買取・販売を行う「BRING」事業
 - ブランド貴金属や時計等を扱う「BRAND REVALUE」事業
- の2つを柱とする。



概況

- 時計やバッグを中心に売上は継続的に増加している。一方で、主に時計の粗利率が大きく低下したこと、事業拡大に伴い人件費や新規店舗出店費用、広告宣伝費用などの販管費が増加したことから営業利益等は減益となった。仕入(買取)は順調に増加しているが、在庫残高は前期末比で横ばいとなっており、今後の利益拡大のため、仕入(買取)の更なる増加、ひいては売上・利益増加を目指す。
- 国内リユース市場は拡大を続けており、SDGsなど環境意識の高まり、インバウンド需要の増加など好材料もあるが、一方で、国内消費の低迷や景気悪化、リユース市場の競争激化などの懸念点もある。
- 上記業績等はSTAYGOLD単体の数値であり、連結上は無形固定資産やのれんの償却費が計上されているため、上記数値とセグメント利益とは一致していません。

	2024年2月末	2024年8月末	前期末比
棚卸資産(在庫残高) (百万円)	2,177	2,168	99.6%

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第2四半期決算日(6月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2024年1月～6月(又は6月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
STAYGOLD	2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、第2四半期決算日(8月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2024年3月～8月(又は8月末時点)の状況を記載。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2023年12月期第2四半期		2024年12月期第2四半期	
		期末レート (2023年6月末)	平均レート (2023年1月～6月)	期末レート (2024年6月末)	平均レート (2024年1月～6月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=23.70MNT	1円=25.54MNT	1円=22.28MNT	1円=21.06MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.64円	1KGS=1.55円	1KGS=1.72円	1KGS=1.86円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.67円	1RUB=1.77円	1RUB=1.70円	1RUB=1.90円